

決算報告

令和6年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

歳出は、一般会計約49億4,660万円、特別会計約27億7,150万円、水道事業会計約3億5,861万円（収益的支出と資本的支出の計）、農業集落排水事業会計約6,301万円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約81億3,972万円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は約53億547万円で、前年度と比べて3,927万円、0.7%の増加となりました。

増加となった主な要因は、中央公民館等の屋根及び外壁改修事業に伴う借入金や地方交付税などが増加したことによるものです。

町税は、約13億598万円で、前年度と比べて約3,561万円、2.7%の減少となりました。これは定額減税を実施したことによるもので

す。国庫支出金は、約6億3,075万円で、前年度と比べて3,201万円、4.8%の減少となりました。新型コロナウイルススワクチン接種対策負担金などの減少によるものです。

町債は、中央公民館等の屋根及び外壁改修事業に伴う教育債などにより、1億4,799万円、397.9%の増加となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、約49億4,660万円で、前年度と比べて1億4,689万円、3.1%の増加となりました。

増加となった主な要因は、社会福祉関係や子育て支援の支出のほか、物価高騰により影響が大きい低所得世帯等への給付金なども増加したことによるものです。

なお、歳入総額53億547万円と歳出総額49億4,660万円の差額3億5,887万円は令和7年度へ繰り越しました。

目的別の主な事業

- 総務費**
町制施行135周年並びに合併70周年記念式典を開催し、町の発展に貢献された135名と6団体の方々を表彰し、その功績を称えました。
- 古池地内の橋戸川不法占有問題の解決に向け町が提起した裁判において、全面勝訴判決を得ました。
- 交通手段の確保などを目的にタクシー・バス利用券を交付し、地域交通対策事業を行いました。
- 町の魅力を発信するため、越生町出身の映画監督兼ミュージシャンの甫木元空氏のライブを開催しました。
- 自転車用ヘルメットの購入費補助制度を創設し、自転車事故の被害軽減と交通安全啓発を行いました。
- 県知事選挙 衆議院議員総選挙、越生町長選挙を行いました。
- 民生費**
越生町障がい福祉総合計画などに基づき、障がい者等の自立と社会参加の促進に取り組みました。
- 高齢者の自立支援や在宅福祉事業などの福祉サービスを推進したほか、新たに移動販売車の運行を開始しました。

出生税金支給事業、こどもの医療費支給事業、学童保育事業のほか、新たにこども食堂の運営に

支援の充実に取り組みました。

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育園・幼稚園等を利用する園児の給食費を無償化しました。

○国の補助金を活用して、物価高騰の影響を受けた低所得世帯を支援するため、低所得世帯支援給付金を支給しました。

衛生費

○住民の健康づくりを支援する健康増進事業や子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠から子育てまでの支援事業などを行いました。

○電気自動車購入費に対する補助制度の創設や、生ごみ処理容器「キエロー」の普及啓発、山並み連携ゼロカーボンシティ協議会のPR活動など、ゼロカーボンシティの実現に向けた各種事業を行いました。

○町民等の公共的な福利厚生に資するため、町営樹木葬墓苑「五大尊花木墓苑」の運営・管理を行いました。

農林水産業費

○梅・ゆずなどの特産物を周知したほか、地産地消を推進しました。

○改植・新植を実施する農家に、苗木購入費の一部を補助したほか、梅の不作に対する支援も行いました。

○特定外来生物クビアカツヤカミキリの早期発見や防除対策に取り組みました。

○成瀬地内の農業用水路の改修工事を行いました。

○森林環境譲与税を活用して、新さくらの山公園内の伐採など森林整備を行いました。

商工費

○町内で起業する中小企業者を支援するため、起業するために必要となる経費に対してその一部を補助しました。

○国の補助金を活用して、フラワーロード商店街が実施した街路灯の修繕事業を支援しました。

○黒山三滝（中）トイレを改修したほか、観光施設の維持管理等を行いました。

○越生まつり実行委員会に補助金を交付し、越生まつりが開催されました。

○**土木費**
越生町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び梅里橋の高欄改修工事を行いました。

○生活安全の向上を図るため、防犯灯及び街路灯の新設・修繕を行いました。

健全化判断比率等

令和6年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しましたのでお知らせします。

健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	—	—	6.4	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率

特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業会計	—	水道事業会計	—
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0

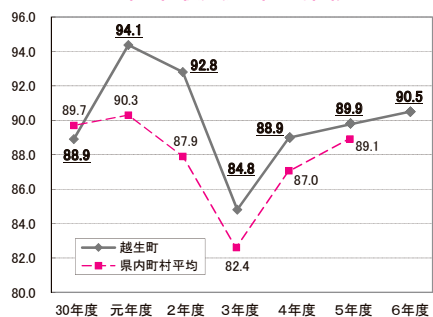
- ・実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- ・連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字または資金不足額の標準財政規模に対する比率
- ・実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- ・将来負担比率：一般会計等が負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ・資金不足比率：各公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率

	歳入	歳出	差引額
総 額	85億7,741万円	81億3,972万円	4億3,769万円
一般会計	53億 547万円	49億4,660万円	3億5,887万円
特別会計	28億7,732万円	27億7,150万円	1億 582万円
公平委員会特別会計	29万円	17万円	12万円
国民健康保険特別会計	13億5,934万円	13億3,637万円	2,297万円
介護保険事業特別会計	13億 614万円	12億2,624万円	7,990万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,155万円	2億 872万円	283万円
水道事業会計	収益的収支 3億1,093万円 資本的収支 2,232万円	2億8,510万円 7,351万円	2,583万円 ▲5,119万円
農業集落排水事業会計	収益的収支 6,129万円 資本的収支 8万円	6,301万円 0万円	▲172万円 8万円

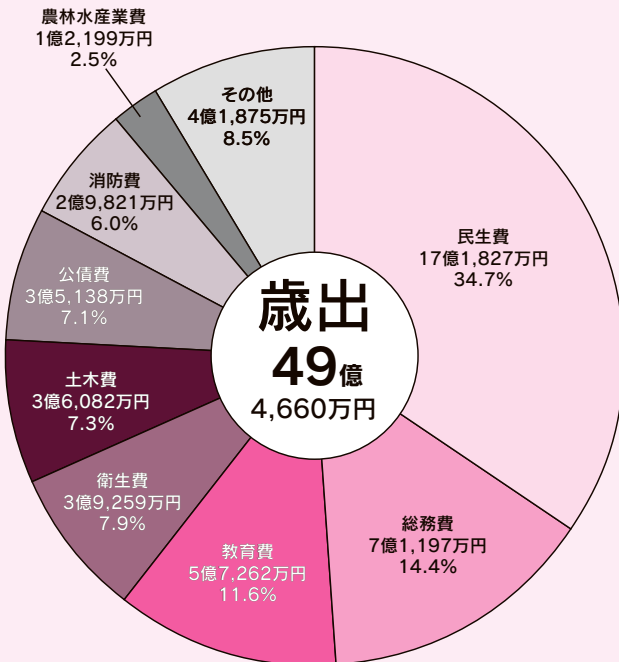
水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額5,119万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。農業集落排水事業会計の収益的支出の不足額は172万円は、剰余金で補てんしました。これは、令和6年度から企業会計に移行したことによるものです。

会計別決算

経常収支比率の推移



歳出の状況



歳入の状況

